

## 学術研究講演会 「これから研究を始める仙台一高生のために」 5/11

酒井 聡樹先生 東北大学 大学院 生命科学研究科

今回の講演会では酒井聡樹先生が  
「研究とは何か」  
「意義のある問題に取り組もう」  
「研究の進め方」  
の三つのテーマに分けて講演をしてくださいました。



### 1. 研究とは何か

研究とは、人類にとって未解決であり、またその解決を多くの人が望む学術的な問題に、取り組むことです。

誰も解決を望まない問題や、わかりきった問題に取り組むのは意味がありません。

学術的問題に取り組む、解決しなくてもよいので、失敗の原因を突き詰め、改善することが大切です。また、その取り組んだということが今後にも役立ちます。

そして研究は、その問題を他者に伝えることとセットになっています。

### 2. 意義のある問題に取り組もう

研究において「自分の興味」を「他者の興味」にすることを心掛けることが必要です。伝えたい相手は他者であり、自分が興味を持ったから調べただけでは駄目です。

「自分が興味を抱いた」ということだけでは研究する意義を認めてもらえないため、それを調べる意義を訴えなければいけません。

### 3. 研究の進め方

#### ①仮説を立てて検証する

↓書籍や論文から知識を得て、問題に対する答え（仮説）を立てます

研究計画を作り、立てた仮説を検証して、もし仮説が外れたら新たな仮説を立て直し検証します

#### ②取り組む問題と研究内容を一致させる

↓必要なときには研究計画と取り組む問題の内容を変更します

#### ③研究記録をとる

研究記録は情報共有や研究改良のヒントにするためにとり、実験・調査を完璧に再現できるものにします

## ～参加者の感想～

研究とは自分が興味を持ったことを調べるだけのものだと考えていたがそれは全く違うということに気づいた。取り組む問題をより明確にできるように精進していきたいと思った。(A.K)

前回の授業までは研究は自分の興味をもった疑問を調べ、まとめていくことだと思っていた。しかし、酒井先生の講義を聞いて調べる問題の意義やレポートなどどれだけ他者を意識できるかが肝心だと理解した。(K.A)

今まで仮説を立てることの意味が分かっていなかったが、それは解答を想定することで最善なデータを考えることが出来るからだとわかった。(T.S)

研究において、もっとも重要である研究の根本にあるものは、「他者に伝える」ということが今回の公演を通して分かりました。(O.N)

今まで研究というものは自分の好きなことを好きなように調べていくものだと思っていたので、研究テーマはよく考えて決めようと思った。(H.K)

